

# 日米ジョイントフォーラムまとめ

## 「日米のビジネス、教育、国民性の違いから学ぶ、これからの日本」

2022年 11月5日開催（日本時間）

釣島（記）

第1部 日本はどのように失われた 30 年と言われる経済の地盤沈下になったのか (What)

もともと日本人はキーボードに不慣れでタイプのスピードも遅く語学の問題もありデジタル化で遅れをとってしまった。一例としてテスラ社のEVはIT 装備がすごいが日本車は遅れている。また日本ではあまり他社と協力して仕事する風潮がなく自社単独での開発に拘ったためコンテンツのオープン化に遅れてしまった。日本ではウォークマンや i モードのような技術的にトップの製品を開発したが、残念ながら世界標準をとれずガラバゴス化して失敗した。日本は失われた30年と言われ最近の政治・経済的な地位は低下した。それはバブル崩壊以降の不良債権処理や時の政府の政策が大きなピクチャーを描けず赤字財政処理などうまく機能しなかったからだ。

第2部 今後復活するためにはどのような経営のビジネスモデルにすべきか(How)

シリコンバレーではベンチャーが起業するための大学・政府・エンゼル・インキュベーター・ベンチャーキャピタルが有効的に機能するエコシステムが有効に働いており日本の復活のためシリコンバレーに学ぶところが多い。日本人のメンタリティとして「出る釘は打たれる」という消極的なマインドだが、積極的なマインドに改めるべきだ。現在の日本の一番大きな問題は「安全・安心に浸るゆでガエルになっている」ことだ。日本人はもっと危機意識を持ちリスクをとることが必要である。また前に進むための社会変革の意識も必要である。日本には昔からいろいろな既得権が存在しているが、これを排除して新しい社会を作る必要がある。また若い人の意識を結集して新しい社会を構築する必要がある。

第3部 今後日本の若者への教育をどう変革すべきか(Yes, and How)

アメリカでは全部コンピュータを使った授業が実施されているが日本では少なく教育現場でのIT化の遅れが目立つ。またアメリカは教師もグローバル化で流動性が活発で移動するが日本は遅れている。教師はいつも同じ授業内容をしており日本の教師の資質の向上が必要だ。また日本の大学生はレジャーランドと言われ勉強しないが、アメリカは競争が激しく落第もあり、教育現場での競争意識をもつことが日本に必要だ。日本の教育は平等性が行き過ぎて引っ込み思案の学生が多い。また多様性のあるエリート教育も必要である。アメリカの大学と日本の大学のルールが違うが、コロナを機会に日本は粘り強く日本の力を発揮することだ。